



Cisco B200 M3 ブレードサーバ 揮発性に関する報告

発行日:2013/11/19

シスコ B200 M3 ブレードサーバには、電氣的に消去でき、プログラムが可能なシリアル不揮発性メモリ コンポーネント (EEPROM およびフラッシュメモリ) が複数あり、製造時のハードウェア ID とハードウェア設定情報を保持しています。シリアル EEPROM とフラッシュメモリの大部分はユーザによって書き込まれることはなく、顧客情報は含まれません。顧客データを保持できる数少ないフラッシュ デバイスをクリアする手順は、このマニュアルに記載されています。

- [工場出荷時設定への BIOS の復元](#)
- [工場出荷時設定への LSI SAS コントローラの復元](#)
- [工場出荷時設定への CIMC の復元](#)
- [UCS Manager からの CMOS のリセット](#)

工場出荷時設定への BIOS の復元

ブレードサーバに直接接続されている UCS Manager リモート KVM またはローカル KVM I/O ケーブルを介して工場出荷時設定に BIOS を復元するには、次の手順を使用します。

- ステップ 1 F2 キーを押して、BIOS セットアップにアクセスします。
- ステップ 2 [Save and Exit] タブをクリックします。
- ステップ 3 [Save and Exit] タブで、[Load Default Values] をクリックします。
- ステップ 4 [Yes] をクリックします。
- ステップ 5 [Save and Exit] をクリックするか、F10 を押します。
- ステップ 6 [Yes] をクリックしてブレードサーバを再起動します。



工場出荷時設定への LSI SAS コントローラの復元

ブレードサーバに直接接続されている UCS Manager リモート KVM またはローカル KVM I/O ケーブルを介して工場出荷時設定に LSI SAS コントローラを復元するには、次の手順を使用します。

-
- ステップ 1 **Ctrl+H** キーを押して、Web GUI にログインします。
 - ステップ 2 [Start] をクリックします。
 - ステップ 3 [Controller Properties] タブをクリックします。
 - ステップ 4 [Next] をクリックします。
 - ステップ 5 [Set Factory Defaults] をクリックします。
 - ステップ 6 [Yes] をクリックします。
 - ステップ 7 [Submit] をクリックします。
 - ステップ 8 **Ctrl+Alt+Delete** を押して、ブレードサーバを再起動します。
-

工場出荷時設定への CIMC の復元

工場出荷時設定に Cisco Integrated Management Controller (CIMC) を復元するには、次の手順を使用します。

-
- ステップ 1 ブレードサーバをシャットダウンし、電源を切ります。
 - ステップ 2 シャーシからブレードサーバを 30 秒以上取り外し、スタンバイ電源を切ります。
 - ステップ 3 シャーシにブレードサーバを再度挿入して電源を入れ、自動的に CIMC を再起動し、工場出荷時設定に復元します。
-

UCS Manager からの CMOS のリセット

UCS Manager から CMOS をリセットするには、次の手順を使用します。

-
- ステップ 1 UCS Manager のナビゲーション ウィンドウで [Equipment] タブをクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] の順に展開します。
 - ステップ 3 CMOS をリセットするサーバを選択します。
 - ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
 - ステップ 5 [Actions] 領域の [Recover Server] をクリックします。
 - ステップ 6 [Recover Server] ダイアログボックスで、[Reset CMOS] をクリックし、[OK] をクリックします。
-